

フチ交流会 in 神戸 実施レポート

日時	2014年7月12日（土） 14:00～17:00
会場	神戸市教育会館501会議室
実施内容	① 自己紹介 ② グループディスカッション（15分×3テーマ） ③ グループ発表 ④ 全体フリートーク ⑤ 記念撮影

2014年7月12日（土）、フチ交流会 in 神戸を実施しました。
猛暑厳しい中30名近くの患者様やご家族様にご参加頂き、ご自身の不安や悩み、生活するうえでの病気への向き合い方や知恵など活発な意見交換が行われました。

① 自己紹介

まずは各参加者による自己紹介を行い、ご自身の名前・病歴や交流会への意気込みなどを1分程度で語って頂きました。簡単にではありますが、各参加者の状況の共有を行いました。

② グループディスカッション

30名以上でのフリートークでは話すことに気後れしたり、1人あたりの話せる時間が短くなる懸念がありますので、今回は6名程度のグループに分かれてのグループディスカッション形式をとりました。

グループディスカッションのテーマは以下の3つとし、それぞれ15分間各グループで議論を行いました。

- CMLに関わる悩みや不安
- 不安や悩みに対する解決方法・コツ
- CMLが自分の人生をどう変えたか

議論はブレインストーミング法（判断や結論を求めず、とにかく意見を出しあう方式）とし、各メンバーの意見を付箋に書き出し模造紙に貼り付けるワークショップ形式を取りました。

各グループとも時には真剣に、時には笑いありで非常に活発な意見交換が行われていました。グループディスカッションで出された意見は別紙に纏めておりますので、そちらを参照ください。

③ グループ発表

グループディスカッションでの議論内容を各グループの代表者が発表し、全体での意見

の共有を行いました。議論した内容を模造紙上に纏めていたこともあり、各発表者とも非常に分かりやすく報告して頂き、共感や新たな視点に対する感心などいろんな空気が流れていました。

④ 全体フリートーク

残った時間で全体フリートークを行いました。

神戸や関西でもっと交流会やイベントを行いたいという声があがったり、患者会の行動などをどうやって広めていけば良いのか問題提起が行われたり、交流会を通して不安が和らいだとの感想が出たり、時間は短かったのですが非常に密度の濃い意見が出ました。

⑤ 記念撮影

最後に参加者の方全員で記念撮影を行いました。

皆さん、凄く素敵な表情で写真に写っておられました。

【後記】

CML患者としての悩みや不安を誰にも言えず抱えたまま生活されている方も多いと思います。そんな患者にとって、同じ病気を抱えた仲間と出会って話せるだけでも、心が和らぎ前向きになれると考えています。

先生抜きの患者同士で集まる目的は、医学的な結論を出す事ではありません。不安や悩みを吐露し、お互いの知恵を共有し、心を軽くする事を目的としています。逆に病気になったからこそ気づけた事があったり、出会えた人がいたり、病気になる前よりも充実した日々を過ごしておられる方もいらっしゃるかと思います。そういった患者やご家族の皆様の「心の健康度の向上」に少しでも役立つ事が出来れば、患者会スタッフとして嬉しい事はありません。

交流会後の参加者の方の笑顔を見られた時、交流会を行って本当に良かったと思いました。関西でのイベントをもっと行いたいという声がありました。関西に限らず、いろんな地域でいずみの会のイベントを行い、患者同士の交流を広げていきたいと思っています。そして少しでも皆様の笑顔が増えればと思っています。まだまだ力不足の面も御座いますが、今後とも宜しくお願い致します。

小林 真 記